

平成29年 4月18日
総務省
消防庁
情報通信国際戦略局

「救急ボイストラ」の全国の消防本部への提供開始

消防研究センター及び総務省所管の国立研究開発法人 情報通信研究機構（以下「NICT」という。）では、外国人来訪者の増加を踏まえ、「情報難民ゼロプロジェクト」の一環として、救急隊用の多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を開発し、全国の消防本部に対して提供を開始することとしましたので、お知らせします。

1 救急ボイストラの概要

NICTが開発した多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra(ボイストラ)」をベースとして、救急現場で使用頻度が高い会話内容を「定型文」として登録し、外国語による音声と画面の文字により円滑なコミュニケーションを図ることが可能なものです（資料1参照）。また、定型文以外の会話でも、音声翻訳が可能となっています。さらに、話した言葉が、日本語文字としても表記されることから、聴覚障害者などとのコミュニケーションにも活用が可能です。

・対応言語は15言語

- (1)英語 (2)中国語 (3)韓国語 (4)スペイン語 (5)フランス語 (6)タイ語 (7)インドネシア語
(8)ベトナム語 (9)ミャンマー語 (10)台湾華語 (11)マレー語 (12)ロシア語 (13)ドイツ語
(14)ネパール語 (15)ブラジルポルトガル語

2 今後の予定

本日、消防庁より、都道府県を通じて全国の消防本部に対して活用促進を通知し、要望に基づき順次提供を開始します。（Android版を先行的に提供し、iOS版は29年度中に対応する予定）

救急ボイストラ
使用状況

【連絡先】

「救急ボイストラ」
消防庁消防研究センター 特殊災害研究室長 久保田 勝明 電話 0422-44-8474
救急企画室 理事官 大嶋 文彦
係長 小川 智也 電話 03-5253-7529

「多言語翻訳全般」
情報通信国際戦略局 技術政策課研究推進室 課長補佐 中川 拓哉
係長 福川 優治 電話 03-5253-5730
国立研究開発法人 情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター
企画室長 内元 清貴 電話 0774-98-6810

救急ボイストラの画面



情報難民ゼロプロジェクトにおける 「救急用多言語音声翻訳システム」の位置づけ

情報難民ゼロプロジェクト報告抜粋「災害発生時/⑨救急搬送」

□現状の課題

東京消防庁の管轄地域において英語に対応できる救急隊が整備されているものの、消防本部によっては管轄地域の救急隊において多言語での救急搬送に十分に対応できていない。

□2020年に目指す姿

全都道府県で外国人傷病者と救急隊との間で電話 通訳センターを介した三者間同時通訳ができる体制を整備し、災害現場で多言語で対応できるようになるとともに、多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra (ボイストラ)」や、情報収集シート、コミュニケーションボード等を活用し、外国人傷病者に対して救急隊が円滑に救急活動ができるようになる

総務省関連施策

→救急用多言語音声翻訳システムの研究開発

□アクションプラン

施策名	施策概要	情報難民ゼロに向けて期待される役割	2020年に向けたアクションプラン			
			2017	2018	2019	2020
救急用多言語音声翻訳システムの研究開発	外国人傷病者への救急対応を迅速に行うため、NICTの多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」を活用し、救急現場特有の会話内容を外国人に短時間で伝える機能等を研究開発(NICTと消防研究センターの共同研究)	外国人傷病者と救急隊員との間での救急業務の実施に関わる円滑なコミュニケーションが行われることによって、外国人傷病者の救命率の向上や日本滞在中の安心感の向上に寄与	引き続きシステムの改良を実施するとともに、救急企画室と連携して全国の消防本部に通知するなどして普及展開			

以上